

今後の進め方等について

1 25年度新規取組事業

森林整備計画樹立のための森林基本図(システム)作成(里山森林情報整備)

- ・林小班・植生・既存施設等を記載した森林基本図を作成、森林簿のGIS化、現地照合等を経て人工林森林整備計画の作成を目指す。
- ・万博剰余金事業(一般会計と別枠)として計上
- ・24年度の搬出状況・資源調査を参考とする。
- ・高齢級林分0.5haの間伐・搬出
(循環の森→「百年の森」への誘導試行)

2 現状把握

事業予算について

万博剰余金活用事業(平成28年度まで)の「あいち海上の森大学」「人と自然の国際フォーラム」以外については、26年度以降も予算削減・合理化の進展が予想される。

3 今後の進め方について

自然環境調査

(委託費の減)

- ・手法の簡略化
- ・他団体等との連携、サポーターの活用
- ・大学・民間研究者等のより積極的な受入

森林整備

(事業費の減)

- ・森林整備計画に基づく間伐推進～優先順位等
- ・間伐材の有効な利用方法

その他

(委託費の減)

- ・体験学習プログラム構成の見直し～守るべきプログラム